

学校図書館支援センター通信 NO.93

10月号

平成27年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

第2回 学校図書館研修会・ネットワーク会議ワークショップ&講演会

今年の第2回学校図書館研修会・ネットワーク会議は、午前と午後の2部にわたって、ワークショップと講演会という2本立てで行いました。それぞれのワークショップの様子をご紹介します。

【授業における新聞活用】

毎日新聞社「教育と新聞」推進本部教育事業担当部長の須藤晃様をお招きして「新聞が出来るまで・子どもに教えた新聞の読み方・新聞の比べ読み新聞文章の特徴」について、ご講演をいただきました。市川市では新聞組合から、小学4年生～中学3年生までの全クラスに、毎朝4社の新聞が届けられています。授業の中での有効な活用をお願いします。



【調べ学習の進め方】

ポプラ社ポプラディア事務局局長の飯田建様をお招きして、「百科事典の活用方法」について、授業形式で研修を行いました。受講者は、生徒になったつもりでグループの仲間と協力して課題に取り組みました。百科事典の使い方については、小学校の国語の授業で必ず学びますので正しい活用の仕方を知り授業に活かしていただければと思います。



【修理の基礎】

キハラ製作所 営業本部営業第3部課長代理の高田繁則様、製本アドバイザーの川人拓様をお招きして、「図書の簡単な修理方法」についての研修を行いました。本の構造について学んだ後、補修用のテープを使うだけでなくのりとはけを使った修理法など、匠の技を伝授していただきました。みな、真剣な眼差しで、匠の手元を注視していました。



【ブックコートのかかけ方】【幼児と保護者のための図書講座】

中央図書館司書の豊田貴子様、臼田千穂様をお招きして、学校図書館員向け「ブックコートのかかけ方」と幼稚園担当者向け「幼児と保護者のための図書講座」を行いました。少人数での実施となったため普段はなかなか聞けないことも、気軽に話すことができ、司書との交流が深まり、実りの多い講座となりました。



【講演：学校図書館の基本を再確認して横断的教育へ】

午後からは、青山学院女子短期大学教授 堀川照代様をお招きして講演会が開かれました。

講演は学校図書館法定化に至るまでの歴史やその後の施策の流れにはじまり、学習指導要領、21世紀型能力における「生きる力」の育成、情報リテラシー等、盛りだくさんな内容でした。学校図書館活用についての実践動画を交えながら、わかりやすく丁寧にお話ししてくださいました。

「みなさんが発信者です」という言葉に、参加者は「もっと先生方に学校図書館の活用を積極的にすすめていこう」という決意を新たにしました。



図書館の窓から ~ひろげよう!図書館の輪・リレー執筆~

高谷中図書館委員会は、毎年、隣接する信篤小の児童と絵本の読み聞かせの交流を行っています。

昨年は、図書委員が4グループに分かれ、信篤小4年生の各クラスで絵本の読み聞かせやパネルシアターを演じました。演目や役割分担は各グループで決め、約一か月半かけて準備をしました。

当日は、読み手(高谷中学生)と聞き手(信篤小児童)の間の言葉のやり取りもあり、双方がおはなしの世界を楽しむ姿が見られて、あっという間の45分間でした。図書委員の生徒がこの日の為に一生懸命に準備し練習に取り組む姿や、当日、楽しそうに演じ、児童と交流する姿を見て、彼らの成長していく力と可能性を感じました。これからも小中の交流を大切にしていきたいと思います。

市川市立高谷中学校 学校図書館員 本川道子



学校図書館活用 校内研修会 <塩焼小(8/27)・第七中(8/27)・第四中(9/10)>

学校図書館を有効に活用するためには、先生方が活用の仕方を知らなければなりません。研究協力校3校で行われた校内研修会には、校長先生をはじめ、学級担任や教科担任だけでなく、学校司書、学校図書館員、養護教諭、カウンセラーの方々も参加していました。学校図書館活用が、教育課程の展開に寄与するためには、全教職員で協働していくことが重要です。

研修で学んだスキルを、授業の中で学校図書館と合わせて活用することによって、言語活動の充実とともに、アクティブ・ラーニングの実践へと、繋げていきたいと思っています。



塩焼小研修風景



第七中研修風景



第四中研修風景

本の世界を表現しよう 読書感想画のいろは 市川市立福栄小学校にて(9/9)

千葉県教育研究会市川支会の学校図書館部会で「読書感想画のいろは 出会った本の感動を表現するために」をテーマに、植草学園大学 教授 森高光広先生をお招きして、研究授業と講演会が行われました。今まで4年生、2年生の授業実践でしたが、今回は6年生です。「魔女の宅急便2」の「6



キキ、赤ちゃんの写真を選ぶ」角野栄子作・角川文庫を題材に、読書感想画の導入の授業展開をしていただきました。読書感想画とは、児童・生徒の読書力、表現力を養い、読みを深めるために読書の感動を絵画表現することです。子どもたちは、森高先生の温かい指導のもと、図書を媒体として作画に動んでいました。キャンバスに向かう子どもたちのキラキラした目の輝きの中に、未来のアーティストの才能が開花する瞬間が見えました。



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

